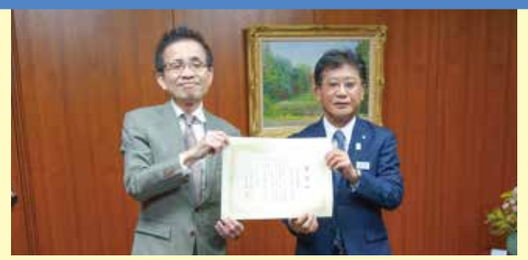
センター公式 Instagram

地球温暖化防止啓発動画を公開中！

あなたは捨ててませんか？
～実は食べられる野菜の部位と活用レシピ～

寒い冬はお鍋が恋しくなる季節!野菜いっぱいの鍋料理や旬の野菜を取り入れたお料理で元気に冬を乗りきりましょう!
その際、ちょっとした工夫で食品ロスは削減できます。
みなさんも食品ロスレシピを考えてみませんか?

永和信用金庫様から寄附金をいただきました。



永和信用金庫様では、お客様に地球環境問題を訴え、一人でも多くの方に関心を持ってもらうことを目的に、「えいわエコ定期積金」を募集され、その一部を地球温暖化防止活動に役立てるため、大阪府地球温暖化防止活動推進センターに寄附していただきました。寄附金は、えこっとOSAKAの発行費用やセンターの活動費用の一部に充当します。

2024年1月▶3月 大阪府民の森 ちはや園地 イベント情報

イベント担当／（一財）大阪府みどり公社　森林緑地チーム
TEL.06-6266-1038　FAX.06-6266-8665　mail:ryokka@osaka-midori.jp

ガイドウォーク

予約不要

自然をこよなく愛するネイチャーガイドと一緒にちはや園地の動植物を観察する楽しい1時間のミニツアーです。

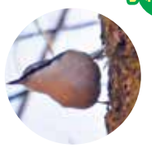
【期間】毎月第1・3日曜日（2/4は中止）
【時間】【午前の部】11:00 ～ 12:00
【午後の部】13:00 ～ 14:00
【集合】ちはや星と自然のミュージアム
【料金】100円
【服装】動きやすく、汚れてもよい服装

野鳥観察会

予約不要

標高1000mのちはや園地は野鳥の楽園。スタッフと一緒に探鳥を楽しむ4時間のツアーです。

【期間】毎月第4日曜日
【時間】10:00 ～ 14:00
【集合】ちはや星と自然のミュージアム
【料金】100円
【持ち物】お弁当、双眼鏡（貸出可）
※中止の場合は前日19時までにちはや園地のブログにてお知らせします
URL https://kongo3.osakazine.net



太陽観察会

予約不要

大阪府で一番空に近い天文施設にある太陽望遠鏡で太陽黒点やプロミネンスを見てみよう!

【期間】晴れの土・日・祝日
【時間】11:00 ～ 14:30
（途中望遠鏡調節のため休止時間あり）
【集合】ちはや星と自然のミュージアム　星見台
【料金】無料
※雪で星見台のルーフが開かない時期は中止します。

ウキウキ実験教室　静電気で遊ぼう!

聞いてるだけではつまらない!実際に色んな実験を通して、科学を楽しむ体験型講座。

【期間】3月20日（水・祝）
【時間】【午前の部】11:00 ～ 12:00
【午後の部】13:00 ～ 14:00
【集合】ちはや星と自然のミュージアム
【料金】500円
【申込】大阪府民の森HPより申し込む。
または、ちはや星と自然のミュージアム【TEL:0721（74）0056】まで

えこっと OSAKA にご意見をお寄せください。

ご意見・ご感想 大募集！

ご意見はこちらから　https://goo.gl/aZVbQn

ご家庭や会社で取組んでいるエコ活動や、身近で地球温暖化防止に役立っている商品、設備、施設等ありましたら教えてください。その他、本紙の感想や取り上げてほしい特集なども、右のQRコード、または上記のアンケートフォームよりお寄せください。みなさんのご意見・ご感想お待ちしてます!

えこっとOSAKAを購読しませんか?

継続して購読されたい方は、1期（年3回発行）送付分の切手、84円3枚を添えて、郵便番号、住所、氏名、電話番号、何号分から送付をご希望かを記入のうえ、大阪府地球温暖化防止活動推進センターまで郵送にてお送りください。

● あて先　〒541－0054　大阪市中央区南本町2－1－8　大阪府地球温暖化防止活動推進センター
お近くの市町村（環境担当部署）、消費生活センター、図書館、府民情報プラザなどでも配布しております。

えこっとOSAKAは、カーボンオフセット付の環境にやさしい情報紙です

本紙は1部あたり10.2gのCO_2（ライフサイクル）を排出しますが、これを大阪府域において実施された森林吸収（間伐促進型プロジェクト）で創出されたクレジットでオフセットしています。

地球にちょこっとえーこと発信!

えこっと OSAKA

VOL.71
2023 WINTER

マスコットキャラクター「えこたま」

みどり公社HPにアクセス!

「えこっと」は地球環境を守るために、私たちの暮らしを**ちょこっと**（少し）だけ、**えーこと**（良いこと：やさしい）、**エコロジカルにしよう**と、大阪言葉を交えた意味を込めています。

編集・発行／大阪府地球温暖化防止活動推進センター
〒541－0054　大阪市中央区南本町2－1－8 一般財団法人大阪府みどり公社
TEL.06－6266－1271　FAX.06－6266－8665　http://osaka-midori.jp/
編集協力・印刷／株式会社ウイルハーツ
〒564－0053　大阪府吹田市江の木町17-1 コンパーノビル 2F
TEL.06－6378－9500　FAX.06－6378－9550　http://www.w-hearts.jp/

VEGETABLE OIL INK
リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

脱炭素社会への道を拓いたCOP28

地球環境市民会議（CASA）　早川光俊 氏

COP28　UAE合意を採択して閉幕

COP28は、アラブ首長国連邦（UAE）のドバイで2023年11月30日から12月12日までの予定で開催され、会期を一日延長した12月13日、UAE合意（UAE Consensus）を採択して閉会しました。

会期初日にL&D基金の運用ルールに合意

COP28の初日に、COP27で設立が決まった「L&D基金」(※)の運用ルールについての決議が採択されました。

採択と同時に、議長国UAEとドイツがそれぞれ1億ドル（148億円）、アメリカが1,750億ドル（25.9億円）、日本が1,000万ドル（14.8億円）の基金への拠出を表明しました。基金は暫定的に4年間、世界銀行のもとに置くことも決まりました。

グローバル・ストックテイク（GST）決定

COP28のもう一つの重要なテーマであったGSTについては、脱炭素社会に向けての重要な一歩となる決定が採択されました。GST決定の主要な内容は以下のとおりです。

(a) 2030年までに世界の再生可能エネルギーの導入量を3倍にし、世界平均のエネルギー効率の年率改善率を2倍にする。

(b) 排出削減対策が講じられていない石炭火力発電の段階的削減に向けた努力を加速する。

(c) この決定的に重要な10年間（in this critical decade）で行動を加速し、公正で秩序ある衡平な方法で、エネルギーシステムにおいて化石燃料からの脱却を図る（Transitioning away from fossil fuels）。

このGST決定は、石炭火力に限定せず、すべての化石燃料から脱却することを明確しています。これまでは、石炭火力の段階的廃止か段階的削減かが問題になってきましたが、今回のGST決定は、「すべての化石燃料」からの「脱却」の行動を、「この決定的に重要な10年間」に「加速する」としており、その意味では「歴史的」な決定と評価でき、脱炭素社会への第一歩を歩みだしたと評価できると思います。

2023年12月13日　COP28閉会式　中央がスルタン・アル・ジャーベルCOP28議長
@COP28/Christopher Pike

地球沸騰化の時代！

2023年の世界の平均気温は工業化以前から1.48℃上昇したとされ、2023年のすべての日が工業化前から1℃を越え、1.5℃を越えた日も50%になったとされています。海水温も異常な高温になっています。日本の年平均気温も、2023年は1898年以降で最も高温になったとされています。森林火災、豪雨、洪水も世界中で頻発しています。グテーレス国連事務局長がいうように、「地球沸騰化」の時代が始まっています。

どんなに良い合意がされても、合意だけで気候変動は止められません。合意に基づいて、各国が合意の内容を誠実に実行することが必要です。

（※）「L&D基金」：気候変動による対応が極めて困難な悪影響に伴う「損失（L:ロス）と損害（D:ダメージ）」に対応するための基金。気候変動の悪影響に対して脆弱な途上国における損失と損害に対応するため、先進国が資金を基金に拠出することになっている。（発行者注釈）

学生たちの環境活動ノート②

やお環境クラブ 八尾市へ提言する環境対策

（サポーター）
オカミさん（WorldSeed代表）
ヤマグチさん（WorldSeedメンバー）
ヨシキさん（近畿大学）
ヤマモトさん、サカタさん（近畿大学／学生団体はちのじ）

（高校生メンバー）
ナナミさん（水都国際高校）／サラさん（住吉高校）

（八尾市職員）
シンバさん

八尾市政策提言に向けて

高校生を中心とし、八尾市の環境政策について、政策の提言と実施を目指して活動している「やお環境クラブ」。

昨年12月19日に行われた通算4回目の活動は、高校生2名を含む7名が参加し、八尾市への政策提言の内容を考える会となりました。

まずは環境問題への対策にどのようなものがあるのかについて話をするところからのスタート。

身近で聞いたことがあるであろう環境用語、取組み等をメンバーがどれくらい知っているか、といった内容で、「3Rって何の頭文字?」「カーボンニュートラルって聞いたことある?」「ZEHってなにか知ってる?」と、オカミさんを中心にメンバーそれぞれがざっくばらんに環境に対する考え方や知識を共有しました。

八尾市が行う環境政策とは?

八尾市が進めている環境政策は「八尾環境総合計画」にまとめられており、令和10年（2028年）までの目標で国、府と連携し、「地球環境」「資源循環」「生活環境」「自然環境」「都市環境」「環境活動」の6つを基本方針として、行われている様々な取組みです。

令和3年（2021年）4月1日には、脱炭素社会の実現に向けて、2050年度までに市域の二酸化炭素排出量実質ゼロをめざす「ゼロカーボンシティ」へチャレンジすることを宣言しています。

ZEH（省エネ住宅）や省エネ家電補助金、シェアサイクルの実施から、高安受水場、配水場ではマイクロ水力発電などの非常に幅広い取組みが行われています。

環境問題を解決していくためには、社会、経済、環境の3つの要素を軸に活動しなければなりません。「環境に配慮しすぎて、生活に支障が出る」「経済に対する利益などを考えすぎて環境問題がおざなりになる」…と、この三つの要素のバランスが崩れ、問題の悪化だけではなく、さらに新たな問題が生まれてしまう場合があります。

こういった取組みは行政（環境）だけではなく、企業（経済）、市民（社会）も足並みをそろえていくことが大切です。

八尾市は自然と共生した快適な環境をみんなでつくり、未来へつなぐことを目指しています。

自然と共生した快適な環境をみんなでつくり
未来へつなぐまち、やお

環境（行政）	経済（企業）	社会（市民）
脱炭素社会への道筋が見え、市全体がその目標に向かって進んでいる…など、4項目	新たな環境ビジネスに取り組む企業が続出している…など、5項目	新しいことを始めようとする人や頑張る人を応援するまち…など、3項目

※「八尾市環境総合計画」より一部抜粋

自然と共生した快適な環境を目指して

里山づくりは高校生のメンバーも参加しているプロジェクトではありますが、まだまだ若い人の参加が少ない状況です。八尾市自体の政策でも、携わる技術者の高齢化に伴い、担い手の不足が課題です。

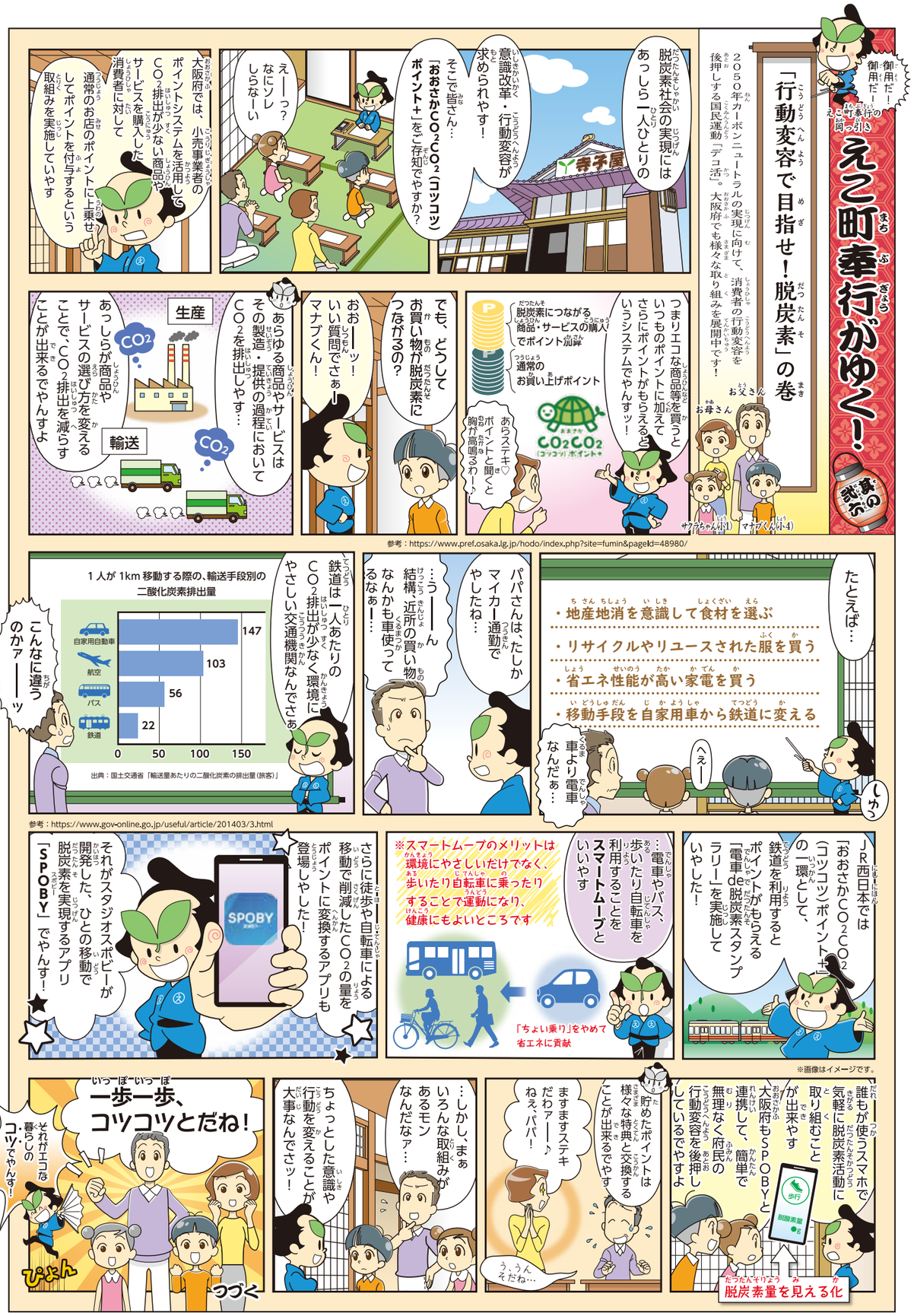
里山づくり（ニッポンバラタナゴの飼育展示、河内木綿の栽培をはじめとした農業体験など）への参加を八尾市に移住してもらうきっかけにする案から、八尾市の魅力的な場所を環境を学びながら回る「八尾ツアー」を企画してはどうか?といったアイデアが出されました。

2月には廃校を利用した里山づくりのさらなる推進とCO_2削減を軸に提案を進めていきます。

「ゼロカーボンシティやお」ポータルサイト

やお環境クラブ　https://activo.jp/articles/99745

チームで地域における環境課題を探り、解決策をまとめ、八尾市等に対して発表する場を設け、次年度以降のより具体的な活動につなげます。若者の活動を支援するために大学生などのサポーターが数名参加します。

ゼロカーボンシティやお　https://zcc-yao.jp/

「一人ひとりが地球温暖化対策に取り組んでいるまち」の実現に向けて、2050年度までに二酸化炭素排出量実質ゼロをめざす「ゼロカーボンシティ」への取り組みをまとめたポータルサイト。市民、企業、行政が行う環境への取組みを紹介しています。